

## 自然環境を活用したスポーツによる地域活性化の検討

### 【概要】

近年、ヘルスツーリズムが提唱され、観光資源としての医療・健康関連施設および「癒し」を主眼とした自然環境が注目されている。この背景には、高度な医療環境とともに、自然環境を活かした温泉や森林浴、さらにはトレッキングコースおよびウォーキングコースが日本各地に多数存在することが一因である。しかしながら、ヘルスツーリズムは経済効果や社会的影響を検証する報告が多く、実際の各地域で行われている実践や健康への影響調査は不明な点が多い。

そこで、本プロジェクトにより、スポーツ科学分野や地理情報システムといった手法を用いて、健康評価、社会文化的評価、地理情報評価、環境評価からの科学的アプローチによるヘルスツーリズムを検討する目的とする。

【キーワード】 ヘルスツーリズム、健康評価、地理情報、自然環境

【参加メンバー】

地域学部	地域教育学科	准教授	関 耕二	(総括および健康評価)
地域学部	地域政策学科	准教授	筒井 一伸	(社会文化環境および地理情報検討)
地域学部	地域環境学科	准教授	田川 公太郎	(環境計測およびニーズ調査)
地域学部	地域環境学科	教授	永松 大	(植生および生態環境の評価)

【計画】

- 平成25年度 既存のヘルスツーリズムに対する評価方法の確立
- 平成26年度 新たなヘルスツーリズムの開発と健康への影響の検討
- 平成27年度 地域の価値としての還元方法の検討および検証成果のまとめと公開

【地域連携先(案)】 日南町、兵庫県立村岡高等学校、